

目次

東方朔目耕

近世陰陽道書の読書態様とその意義

..... 小池 淳一 1

研究活動報告

ギリシア医学と技術(1)

..... 今井 正浩 1

鵜外と『ファウスト』(その一)

「対話」「団子坂」など..... 田中 岩男 15

『浄土三経往生文類』における『観経』往生

および『小経』往生の位置づけをめぐって

『教行信証』穩頓釈との関係を中心に..... 高島 磨 27

『異邦人』への道

作家カミュの誕生 (2)

..... 奈蔵 正之 41

近代世界におけるアジアと革命

中国革命論序説..... 中屋敷 宏 45

自己知をめぐるホップスとデカルトの対話

..... 清水 明 85

【翻訳】

F・W・シエリング

『啓示の哲学』あるいは積極的哲学の基礎付けへの序論(4)

..... 諸岡道比古 79

Locative Alternation in Construction Grammar and Learnability Paradox

..... 奥野 浩子 97

執筆者紹介（五十音順）

- 今井正浩（西洋古典学・西洋古代思想）
奥野浩子（英語学）
鎌田 D・ローレル（言語学）
小池淳一（民俗学）
清水明（哲学・情報思想）
田中岩男（ドイツ文学）
中屋敷宏（アジア史）
奈蔵正之（フランス語・フランス文学・国際言語政策）
宮島磨（倫理学・日本倫理思想史）
諸岡道比古（宗教学）

編集後記

豊饒の時。岩木山が雪をかぶり、里に本格的な雪が降り積もる。これからの季節には、そのようなイメージこそふさわしい。在ることの不思議さにおののきつつ、進むべき方向を的確に探りあて、果敢に敢行するよう促す「羅針盤」。そのようなあつき理想を掲げて創刊した『人文社会論叢』も、はや第3号となりました。昨年末（98）には雑誌名や表紙のデザインなどいまだ定まらず、出口の見えない議論を重ねていただけに、編集委員の一人として感無量です。創刊号に携わった編集委員は3号をもって全員交代します。これからますます充実した研究紀要になることを祈って、編集後記にかえさせていただきます。ありがとうございます。

編集委員（五十音順）

- ◎委員長
尾崎彰宏
佐藤和之
◎中澤勝三
根本伸一
フィリップス・ジョン・エドワード
原田悦雄
宮島磨
綿引宣道

人文社会論叢（人文科学篇）第三号

二〇〇〇年二月二十八日

編集 総務委員会

発行 弘前大学人文学部

036-8360 弘前市文京町一番地
<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/>

印刷 やまと印刷株式会社

036-8061 弘前市神田四一四一五
電話 04四一五一